

令和4年度佐賀県立鹿島高等学校学校運営協議会(学校魅力強化委員会)準備委員会会議録

【期 日】 令和4年5月18日(水) 14:00～15:00

【場 所】 佐賀県立鹿島高等学校赤門学舎 会議室

【出席者】 学校運営協議会委員(就任予定者) 10名(欠席者2名)
本部事務局教職員 4名

【会議録】

1 学校長挨拶

- ・令和4年から佐賀県が、コミュニティ・スクールを導入。
- ・今年度、県内の県立学校9校からスタートした。
- ・地域の子どもたちが、志願する魅力ある鹿島高校であるために委員の皆様にご意見をいただきたい。
- ・委員(就任予定者)および本校事務局教職員の紹介(自己紹介)

2 コミュニティ・スクールについての解説 (委員1)

- ・15年前から文科省が全国に広めている。
- ・設置したが、機能していないところもある。
- ・保護者や地域が、学校運営に意見をいう事ができる仕組み。
- ・学校運営に必要な支援について提言できる権限がある。
- ・学校運営協議会が形骸化しないように。生産的な場になるように。
- ・地域の方、保護者をどう巻き込むかで、成果が高くなる。
- ・会議は、成果を共有する場(多ければいいという事ではない)
- ・会議が多くなれば教員の負担感が増える。
- ・仕組みを正しく理解して、身の丈にあった仕組みを。
- ・鹿島高校の場合、委員の構成が多様性・年齢・ジェンダーのバランスがよい設計図ができています。
- ・委員の方々は地域と学校のハブとなっていただきたい。
- ・CSだより・学校だより等で活動を外にも周知し、何をしているか外から見える活動を。

3 本校の学校運営協議会について（学校長 資料 P2、P3）

- ・スクールポリシーに基づいて育てたい子どもたちの姿を共有していく。

【質疑応答】

（委員2）一言でいえば、コミュニティ・スクールはどこを目指しているのか？

（校長）・在学している生徒のため、進路・就職等の出口の補償、社会への可能性を広げる。

- ・鹿島高校の魅力を外にアピールして存在価値を高める。

- ・地域貢献。

（委員3）意見交換の場に出席できない場合は、オンラインは可能か？

（事務局）可能。zoomでの対応を考えている。

4 学校運営協議会の部会について（副校長 資料 P4P、P5）

①地域連携部会(委員5名、事務局1名)

②キャリア教育部会(委員4名、事務局1名)

③学校評価部会(委員3名、事務局2名) の3部会編成で

【講評】(委員1)

- ・ワークショップで話し合っ共有することが大事。

- ・今後は部会を混ぜて交流してもよいのでは？

- ・キーワードとしては、「繋がり」(教員、卒業生、地域)

- ・質問として、鹿島高校のキャッチフレーズはあるか？

- ・生徒達が考えている鹿島高校って何だろう→生徒自身が考えるのもいいのでは？

6 その他

- ・第1回学校運営協議会は7月20日(水)に、鹿島高校赤門学舎会議室にて実施予定。

- ・部会ごとの取り組みについては、個別に連絡。